2021年8月2日

各　位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2021年 7月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	120.3
阪神梅田本店	84.6
支店計	107.6
全店計	112.0

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- 来店客の購買意欲は高く、高額商品の動きが活発な阪急本店が牽引し、前年実績をｸﾘｱ。
- 既存店の売上高前々年対比85%(国内売上高91%)と、本年は、夏のｸﾘｱﾗﾝｽを6月ｽﾀｰﾄに早めたことを考慮すると、堅調に推移。
- お中元が、EC売上高が2ケタ増と好調で、全体では前年実績を上回る見込み。
- 阪神梅田本店は、建て替え工事の影響で売場面積が全館で約2割減(食品売場は約4割減)の状況に、臨時休業もあり厳しい状況。
- 東京で12日から「緊急事態宣言」再発令の一方、大阪では「まん延防止等重点措置」が8月22日まで延長。ﾚｽﾄﾗﾝの時短営業と、出入口の規制および検温を継続。

○ 阪急本店の概況

- 全てのｶﾃｺﾞﾘｰで前年実績を上回る。特に、100万円以上の高額品は、前々年売上高もｸﾘｱし、依然好調継続。売上高前々年対比は89%(国内売上高99%)とｺﾛﾅ前水準にほぼ復調。
- ｵﾝﾗｲﾝ売上高(EC＋ﾘﾓｰﾄｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ「Remo Order」)も、前年の約2割増と好調継続(全店も同水準)。
- 人気の海外催事を2年ぶりにﾘｱﾙで開催。海外旅行に行くことができない状況下で旅の気分を味わいたいという方がSNSに対する反応も良く、好評。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2020年度									2021年度			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
阪急本店	75.4	70.5	61.8	98.7	86.2	82.1	70.1	92.8	144.8	422.9	65.7	108.6	120.3
阪神梅田本店	68.1	63.1	44.2	89.3	68.5	66.3	55.6	66.8	109.5	251.9	78.9	82.4	84.6
支店計	112.6	116.7	108.2	97.0	90.4	89.2	74.2	88.8	124.5	258.6	132.3	99.1	107.6
全社計	86.8	85.0	73.0	97.1	86.3	83.5	70.6	88.3	132.6	313.6	101.3	102.5	112.0
既存店計※	76.1	73.1	63.7										

※神戸・高槻阪急を除く

■ 食品事業

イズミヤ	売上高前年比(%)
全 社 計	98.8

阪急オアシス	売上高前年比(%)
全 社 計	100.7

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社　広報部　TEL:06-6367-3181